

鎌ヶ谷市政策評価表

政策の名称	33活力ある産業を育成します		
基本目標	3「躍動感と魅力あふれる交流拠点都市」をめざして	政策担当マネージャー	市民生活部長
重点政策該当有無		マネージャー氏名	高岡 敏和

I 改革・改善内容(=政策をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	農家後継者を育成するため、持続性のある農業経営を支援し、農産物のブランド化を一層進めて、都市農業の強みを自ら認識して魅力づくりにつなげていく必要があります。また、地場産業の活性化や雇用の創出のため「企業誘致基本計画」「観光ビジョン」の2つを大きな柱として捉え、これらの施策を優先的かつ重点的に継続実施していく必要があります。	③改革・改善内容	都市農業の育成では、更なる農産物のブランド化を推進し、市の魅力づくりに貢献する必要があります。また、「企業誘致基本計画」は、企業誘致支援制度など外部有識者の意見を取り入れながら、制度を確立したうえで、企業誘致を推進する必要があります。更に、コミュニティビジネス、ベンチャービジネスや創業事業者支援による起業促進に努める必要があります。
②①に基づく取り組み結果	国の交付金を活用し、「ふるさと名物商品(梨)事業」(インターネット販売)により農産物のブランド化に取り組みました。また、観光ビジョンの実現では「観光資源回遊宿泊券事業」に取り組みました。		

II 政策の目的・概要

①目的	対象	農家経営者、商工業者、消費者(市民)	意図(対象をどうするのか)	農家—持続性のある農業経営の確立を目指します。商業者—個性豊かな魅力ある商店を作ります。工業者—付加価値の高い製品を生み出し、販路を拡大します。消費者(市民)—安全で安心して暮らせる豊かな消費生活を実現します。
②政策の概要	魅力あるまちづくりを進めるため、市内の産業活動(都市農業・商業・工業)を育成し、活性化を図っていきます。			
③環境分析(状況変化や今後の見込み・市民意向など)	少子高齢化、人口減少、さらに後継者不足などにより厳しい経営環境が続くものと予想される中、施策に対する市民や議会の意見は、より一層の充実が求められています。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成26～27年度の施策の成果	都市農業の育成では、ふるさと名物商品(梨)事業の実施(予約販売にて1,500箱販売)や梨剪定枝のチップ配布・堆肥の販売を行いました。商工業の育成では、27年度に国の交付金を活用した「空き店舗活用補助金」(7件)や「コミュニティビジネス・ベンチャービジネス事業補助金(5件)」など一定の成果をあげることができました。								
②施策成果指標	指標名称			単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	目標値(27年度)	目標値(32年度)
	1	販売農家数	戸	-	-	295	330	330	
	2	経営耕地面積	a	-	-	35,322	37,500	37,500	
	3	年間商品販売額	千万円	-	-	7,687	8,700	8,700	
	4	小売業における売り場面積	m ²	-	-	80,663	90,400	90,400	
	5	製造品出荷額	千万円	3,040	3,215	2,561	3,900	3,900	
	6	資金融資件数	件	31	33	32	30	40	
	7	無料職業紹介所の紹介による就職件数	件	150	126	116	120	120	
	8	消費生活相談件数	件	373	456	500	300	300	
	9								
	10								
11									
③政策の事業費	平成26年度決算	平成27年度決算	市民一人あたり事業費(27年度決算)			平成28年度予算			
事業費(千円)	209,556	401,020	4			258,790			

IV 評価・検討

①課題	都市化の進展による農地の減少や農家後継者の育成が課題となります。また、中小小売店も同様に経営者の高齢化や後継者不足が課題となっています。		
②総合評価	4未達成	③総合評価の理由	施策成果指標では、都市農業の育成、魅力ある商業の育成、魅力ある工業の育成(のうち資金融資件数を除き)において、目標値を達成できていないことから、更なる、施策の充実が必要なため。

V 今後の方向性

①成果の方向性	↑ 向上	②コストの方向性	↑ 増加
③特に重点化する施策	施策3 活力ある工業の育成		
④上記方向性の説明	新鮮、安全、安心な食料の提供、商店街と地域のつながり、コミュニティビジネスなど新しい産業の進出による調和のとれた魅力づくりが必要なため。		